

第13回 広島市植物公園 ガーデニングコンテスト 総評

広島市植物公園のガーデニングコンテストは、今回で13回目を迎えました。今年も多くの皆様にご参加いただき、多くのすばらしい作品を出展していただきまして、誠にありがとうございました。本年は例年のない酷暑、災害の多い年となりましたが、数多くの素晴らしい作品に出会い、感動しました。心より御礼申し上げます。

『一般部門』、『キャリア部門』の2部門にて審査を始めて7年目になります。

『一般部門』では、「コンテナガーデン作品」「ハンギングバスケット作品」共に、作品として「魅せる」演出がなされた作品が多く見受けられました。見る人に物語を感じさせる作品作りは印象深く、心に残ります。その一方で、演出が過剰になりすぎたり、見た目にこだわるあまり、「植物の生育特性」に合わせた植え込みがなされていない作品もあったことが残念でした。

『キャリア部門』の今年の課題は『秋の気配』でした。入賞された作品は、『生活の中で感じた秋』をうまく切り取ったものが選ばれました。惜しくも選ばなかった作品にも、魅力あふれる作品が多くありました。

来年の『キャリア部門』の課題は、『AUTUMN FLAVOR』の予定です。

移りゆく日本の短い秋を、皆さんはどのように感じられますか？『音楽、読書、芸術、祭、旅、グルメ』など、多くの感じるものがあります。それをコンテナガーデンやハンギングバスケットに表現して、楽しんでみませんか。

秋の花材は、限られて、似通った作品になりがちで、管理も難しいものです。そんな中、五感に感じられる、個性ある作品に挑戦していただければと思います。

皆様の、たくさんの御応募、お待ちしております。

当コンテストの審査の評価基準は下記のとおりです。今後の作品作りの参考にしていただくと幸いです。

区分	評価項目	評価の基準
デザイン	プロポーション	全体のバランス(縦横のバランス、凹凸、植物の向き)はいいか
	カラーコーディネート	花や葉の色の組み合わせはどうか、質感が生かされているか
植え込み技術	植物の選択	季節(生育適温など)、栽培条件(光・乾湿など)にあった種類の植物が選択してあるか
	植物の活力	植物がいきいきしているか、枯れ葉、花がら、病害虫被害はないか、今後の生育が期待できるか
総合評価		第1印象を含めた完成度(テーマ性、斬新さ、統一感など)